



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2022年10月31日

上場会社名 ユタカフーズ株式会社
コード番号 2806 URL <https://www.yutakafoods.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 淳
問合せ先責任者 (役職名) 業務部長 (氏名) 岸本 一人
四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 2022年12月5日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東名

TEL 0569-72-1231

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,902	8.5	462	34.4	533	30.5	373	29.7
2022年3月期第2四半期	7,545	2.3	704	0.1	766	0.2	530	5.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	53.69	
2022年3月期第2四半期	76.42	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	24,094	21,410	88.9	3,081.46
2022年3月期	24,481	21,185	86.5	3,049.15

(参考)自己資本 2023年3月期第2四半期 21,410百万円 2022年3月期 21,185百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		20.00		20.00	40.00
2023年3月期		20.00			
2023年3月期(予想)				20.00	40.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,750	15.1	1,000	26.4	1,080	26.0	700	30.6	100.75

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	8,832,311 株	2022年3月期	8,832,311 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	1,884,277 株	2022年3月期	1,884,207 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	6,948,074 株	2022年3月期2Q	6,948,204 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、ワクチン接種の進展等による行動制限の緩和に伴い、経済活動が正常化に向かう一方で、急激な円安の進行、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化によるエネルギー価格や原材料価格の高騰、それに伴う物価高の懸念など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、消費者の需要衰退や購買行動の変容、より一層食への安心・安全に対する関心が高まるとともに、原材料価格や燃料費の高騰は続くと思われ、厳しい経営環境が継続していくと見込まれます。

このような状況の中で、当社は取引先のニーズを追求した提案型営業の強化とともに、各部門全てにおいて、既存設備の活用を重点に合理化・省力化の推進を図り、経営効率の向上と利益目標の達成に取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の売上高は6,902百万円（前年同期比8.5%減）、営業利益は462百万円（前年同期比34.4%減）、経常利益は533百万円（前年同期比30.5%減）、四半期純利益は373百万円（前年同期比29.7%減）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

液体部門は、液体添付スープの売上が順調に伸び、売上高は2,101百万円（前年同期比6.2%増）となりましたが、セグメント利益は179百万円（前年同期比31.9%減）となりました。

粉体部門は、顆粒製品の受託が伸びず、売上高は1,832百万円（前年同期比12.3%減）となりましたが、セグメント利益は59百万円（前年同期比69.5%増）となりました。

チルド食品部門は、受託が低調に推移し、売上高は912百万円（前年同期比12.0%減）、セグメント利益は149百万円（前年同期比38.0%減）となりました。

即席麺部門は、カップ麺の受託製品が減少し、売上高は1,527百万円（前年同期比24.0%減）、セグメント利益は64百万円（前年同期比59.1%減）となりました。

その他は、水産物の取扱量が増加し、売上高は529百万円（前年同期比22.4%増）、セグメント利益は8百万円（前年同期比37.4%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における資産の部は24,094百万円となり、前事業年度末と比べ386百万円減少しました。これは主に、現金及び預金が321百万円増加し、売掛金が616百万円、建物（純額）が65百万円、機械及び装置（純額）が108百万円減少したことによるものであります。

負債の部は2,684百万円となり、前事業年度末と比べ610百万円減少しました。これは主に、買掛金が371百万円、未払法人税等が78百万円、その他が133百万円減少したことによるものであります。

純資産の部は21,410百万円となり、前事業年度末と比べ224百万円増加しました。これは主に、利益剰余金が234百万円増加し、その他有価証券評価差額金が9百万円減少したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ261百万円（2.8%）増加し、9,492百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において営業活動により得られた資金は640百万円となり、前年同期と比べ92百万円（12.6%）の減少となりました。主な要因は、税引前四半期純利益531百万円、減価償却費265百万円及び売上債権の減少616百万円による資金の増加、並びに仕入債務の減少371百万円及び法人税等の支払額212百万円による資金の減少であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において投資活動の結果使用した資金は239百万円となり、前年同期と比べ2百万円（1.1%）の減少となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出179百万円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第2四半期累計期間において財務活動の結果使用した資金は138百万円となり、前年同期と比べ0百万円（0.0%）の支出増となりました。なお、財務活動による支出は、主に配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月13日に発表いたしました通期の業績予想につきましては、現時点において変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,454	9,776
売掛金	2,168	1,551
商品及び製品	435	481
仕掛品	28	18
原材料及び貯蔵品	267	289
関係会社短期貸付金	5,500	5,500
その他	75	93
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	17,921	17,704
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,133	2,068
機械及び装置（純額）	1,377	1,269
その他（純額）	1,152	1,197
有形固定資産合計	4,663	4,535
無形固定資産	12	10
投資その他の資産		
投資有価証券	1,525	1,511
その他	357	332
投資その他の資産合計	1,883	1,843
固定資産合計	6,559	6,389
資産合計	24,481	24,094

(単位：百万円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,410	1,039
リース債務	1	1
未払法人税等	231	152
賞与引当金	192	181
役員賞与引当金	10	1
その他	487	354
流動負債合計	2,333	1,730
固定負債		
リース債務	4	3
退職給付引当金	943	945
役員退職慰労引当金	14	4
固定負債合計	962	953
負債合計	3,295	2,684
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,160	1,160
資本剰余金	1,160	1,160
利益剰余金	21,903	22,138
自己株式	△3,457	△3,457
株主資本合計	20,767	21,001
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	417	408
評価・換算差額等合計	417	408
純資産合計	21,185	21,410
負債純資産合計	24,481	24,094

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	7,545	6,902
売上原価	6,371	6,006
売上総利益	1,173	896
販売費及び一般管理費		
運送費及び保管費	170	156
賞与引当金繰入額	25	23
役員賞与引当金繰入額	4	1
退職給付費用	14	13
役員退職慰労引当金繰入額	0	0
その他	253	239
販売費及び一般管理費合計	469	434
営業利益	704	462
営業外収益		
受取利息	13	13
受取配当金	33	45
雑収入	17	17
営業外収益合計	64	76
営業外費用		
賃貸費用	2	2
雑支出	0	2
営業外費用合計	2	4
経常利益	766	533
特別利益		
固定資産売却益	0	0
補助金収入	0	—
特別利益合計	0	0
特別損失		
固定資産除売却損	1	0
固定資産撤去費用	6	1
特別損失合計	7	2
税引前四半期純利益	760	531
法人税、住民税及び事業税	219	136
法人税等調整額	10	21
法人税等合計	229	158
四半期純利益	530	373

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	760	531
減価償却費	283	265
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
賞与引当金の増減額 (△は減少)	0	△10
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△12	△9
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	△1	2
前払年金費用の増減額 (△は増加)	1	2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	0	△10
有形固定資産売却損益 (△は益)	△0	△0
有形固定資産除却損	1	0
有形固定資産撤去費用	6	1
受取利息及び受取配当金	△47	△58
売上債権の増減額 (△は増加)	72	616
棚卸資産の増減額 (△は増加)	20	△58
仕入債務の増減額 (△は減少)	△29	△371
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△77	△4
長期前払費用の増減額 (△は増加)	6	3
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△4	△18
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△44	△88
小計	935	793
利息及び配当金の受取額	47	58
法人税等の支払額	△249	△212
営業活動によるキャッシュ・フロー	732	640
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△196	△196
定期預金の払戻による収入	136	136
有形固定資産の取得による支出	△176	△179
有形固定資産の売却による収入	0	0
有形固定資産の除却による支出	△6	△1
無形固定資産の取得による支出	△0	—
その他の支出	△0	△0
その他の収入	0	2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242	△239
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△138	△138
自己株式の純増減額 (△は増加)	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△138	△138
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	351	261
現金及び現金同等物の期首残高	8,395	9,230
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,746	9,492

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	1,977	2,088	1,037	2,009	7,113	432	7,545
外部顧客への売上高	1,977	2,088	1,037	2,009	7,113	432	7,545
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,977	2,088	1,037	2,009	7,113	432	7,545
セグメント利益	263	35	241	157	697	6	704

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計 (注) 2
	液体	粉体	チルド食品	即席麺	計		
売上高							
顧客との契約から生じる 収益	2,101	1,832	912	1,527	6,373	529	6,902
外部顧客への売上高	2,101	1,832	912	1,527	6,373	529	6,902
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	2,101	1,832	912	1,527	6,373	529	6,902
セグメント利益	179	59	149	64	453	8	462

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、商品（冷凍魚ほか）であります。

2 セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。